

平成27年度事業報告

(公財)こうべ市民福祉振興協会は、「神戸市民の福祉をまもる条例」の理念である市、事業者及び市民の三者が有する人材、資力などを総合的に活用することによって市民福祉を振興するための事業を創造・推進させ、市民福祉の向上に寄与することを目的とした事業を実施している。

平成27年度は、新たな時代変化の中で、神戸市が目指す「ともに支え合う社会」の実現に向けて取り組むべき方向性を示した「中期経営計画2018」（計画期間：平成27年度から平成30年度の4か年）の初年度であり、その達成に向けた各種事業に取り組んだ。

平成27年度事業報告

【公益目的事業】

I 市民の福祉意識の啓発並びに福祉活動の普及及び助長 [公1] 72百万円

福祉資源としての市民の有する力のさらなる活用を図るため、市民に対する福祉意識の啓発や市民の福祉活動を振興する事業を実施した。

1 市民の福祉意識の啓発を図る事業

(1) 情報誌の発行

市民福祉への理解を深めることを目的に、当協会の取り組んでいる事業内容の他、福祉や健康に関する情報を掲載した情報誌「市民ふくし」を発行した。

[発行回数]年6回 [発行部数]各30,000部

(2) ふれあい体験学習

市民の思いやりの心を育むことを目的に、学校・地域団体等を対象に、福祉に関する講義や車いす・アイマスク・白杖等を用いた介護実習及び福祉施設での実習等を行った。

[参加者数]計3,223人

(3) ユニバーサルデザインの普及啓発

ユニバーサル社会の実現を目指し、より多くの市民にユニバーサルデザインへの理解を広げていくため、講義やワークショップを通して学ぶ「こうべUD大学」や「夏休み親子UD体験教室」を実施したほか、啓発及び関連団体の取り組みのPRの場である「こうべユニバーサルデザインフェア」等を実施した。

① こうべUD大学 [実施回数]全10回 [受講者数]50人

② 夏休み親子UD体験教室 [実施回数]年1回(8月4日) [参加者数]90人

③ こうべユニバーサルデザインフェア

[実施回数]年1回(3月20日) [来場者数]11,500人

④ UDスポット見学ツアーinしあわせの村 [実施回数]42回 [参加者数]590人

2 市民の福祉活動の振興

(1) 市民福祉事業・福祉活動助成

市民活動の活性化による福祉都市神戸の創造を目的に、神戸市民の福祉の発展・向上に資する事業・活動の実施等に対する助成を行った。

[助成件数]11件 [助成金額]計1,200千円

(2) 手話・点訳ボランティアの養成と活動支援

視覚・聴覚障がい者についての理解を深めるとともに、市民ボランティアの育成を目指し、手話及び点字の講座を行ったほか、同講座修了者を中心に組織されたボランティア団体に対する運営の支援や活動機会の提供を行った。

また、27年度から新たに、気軽に手話にふれあうことのできる機会を提供することにより、より多くの市民の手話に対する理解を促進することを目的とした短期手話講習会を実施した。

- ① 手話講座 [実施回数]全40回 [受講者数(修了者数)]23人(17人)
- ② 点字講座(通常講座) [実施回数]全35回 [受講者数(修了者数)]8人(8人)
- ③ 点字講座(中級講座) [実施回数]全19回 [受講者数(修了者数)]6人(6人)
- ④ 短期手話講習会 [実施回数]3回(全4日) [受講者数]計69人

(3) 市民向け福祉啓発講座

広く福祉にふれる機会を提供することにより、市民の福祉意識の向上を目的とした教室や講座を行った。

- ① 夏休み子ども手話教室 [実施回数]年1回(全2日) [受講者数]25人
- ② 夏休み子ども点字教室 [実施回数]年4回 [受講者数]計92人
- ③ 市民福祉啓発講座 [実施回数]年1回 [受講者数]27人
- ④ 介護予防教室 [実施回数]年3回 [受講者数]計61人

3 高齢者や障がい者等の社会参加の支援

(1) 「こうべ長寿祭」の開催等

長寿社会を明るく活力に満ちたものにするため、高齢者のスポーツと文化の振興を図り、高齢者の心身の健康の保持・増進に寄与するとともに、長寿社会における健康と福祉に関する市民の理解を深めることを目的に「こうべ長寿祭」を実施するとともに、神戸市代表選手団を「全国健康福祉祭やまぐち大会」へ派遣した。

- ① 第28回こうべ長寿祭
[開催期間]4月22日～11月1日 [参加者数]計3,404人、美術作品196点
- ② 第28回全国健康福祉祭やまぐち大会
[開催期間]10月17日～20日 [神戸市代表]計127人、美術作品10点

(2) こころのアート展

障がい者の芸術作品の魅力を広く社会に知っていただくとともに、活躍の場を拓くことを目的に、兵庫県内から公募により選定された障がい者の芸術作品展及びその自由な表現

を体感するワークショップをしあわせの村において開催した。

また、しあわせの村での展示後、神戸市役所市民ギャラリーにおいて巡回展を開催した。

① 作品展(しあわせの村)

[開催期間]10月29日～11月15日 [出展作者]10人 [来場者数]計5,100人

② ワークショップ [開催日]11月3日 [参加者数]75人

③ 巡回展 [開催期間]2月1日～13日

(3) 発達の気になる子の体験ひろば

学校行事等への適応に対する不安を抱える発達の気になる児童に対し、事前に体験しておくことにより、その不安を解消する機会を提供する「体験ひろば」を開催したほか、参加児童の保護者に対する講座や交流会を実施した。

また、過去に参加した児童と保護者を交えた交流会を開催した。

① 体験ひろば (小学1年生クラス) [実施回数]全10回 [参加者数]15人

(小学2・3年生クラス) [実施回数]全10回 [参加者数]25人

② 保護者向け講座 [実施回数]年4回 [参加者数]計126人

③ 交流会 [実施回数]年1回 [参加者数]34家族・76人

(4) 児童養護施設退所児童向けSST(ソーシャル・スキル・トレーニング)

児童養護施設の退所を控えた児童に対し、就職後に自立した生活が送れるよう、ビジネスマナーや消費生活、食生活管理といった社会・経済生活への順応に必要な知識を身につけるための講習会を開催した。

[実施回数]全5回 [受講者数]延41人

4 市民福祉事業の調査研究及び開発

福祉を取り巻く社会情勢の変化に対応しながら、中長期的な視野に立った今後の市民福祉の創造・推進に積極的に取り組んでいくため、27年度から「戦略会議」を発足し、学識経験者や専門機関職員を招いた勉強会を開催した(年4回)ほか、係長級職員を中心としたプロジェクトチームによる具体的な事業展開に向けた調査・研究活動を行った。

II 総合福祉ゾーン「しあわせの村」をはじめとする市民福祉施設の管理運営

[公2] 433百万円

市民の心身の健康や福祉の増進を図るため建設された市民福祉施設における設立理念の実現を目指した管理運営を通して、市民福祉の向上を図る事業を実施した。

A 総合福祉ゾーン「しあわせの村」運営事業

「神戸市民の福祉をまもる条例」の基本理念である「自立と連帯」の実現をめざし、高齢者・障がい者をはじめとするすべての市民があたたかいふれあいの中で思いやりや助け合いの心を育み「つどい」・「楽しみ」・「学び」・「憩う」場としての「しあわせの村」の運営を専門的能力を有する事業者と共同事業体を構成し、指定管理者として行った。

協会は、共同事業体代表法人として、運営全体の総合調整を行うとともに、利用者の安全・安心の確保や施設の維持管理を行ったほか、市民福祉の理念の実現のため、福祉事業や

市民交流事業の企画・実施等に取り組んだ。

また、各施設の管理運営については、共同事業体の各構成団体が専門的能力を発揮することにより、互いに連携をとりながら、全体としての利用者サービスの向上や効率的な運営に取り組み、市民福祉の拠点施設である「しあわせの村」の事業運営の充実を図った。

27年度の入村者数は、26年度に引き続き、前年を上回り1,906千人となった。

【平成27年度しあわせの村利用状況】

	利用者数	対前年度比
入村者数	1,906,200人	101.1%
施設利用者数	1,122,133人	102.6%
宿泊施設	80,673人	102.9%
温泉	218,725人	98.5%
屋内運動施設	321,057人	102.1%
屋外運動施設	405,508人	104.8%
その他施設	96,170人	105.0%

1 障がい者の自立や社会参加を促進するための事業

(1) 障がい者就労支援協働事業

障がい者就労の促進と市民への啓発を目的とした事業を障がい者団体や施設との協働により実施した。

① 農福連携事業

農作物の生産・加工・流通と障がい者の就労を組み合わせた事業の実現に向け、関係者との検討を進めるとともに、農作物の栽培や加工品の試作を行った。

② 「神戸幸品」の販売

村で生産された製品のオリジナルブランド「神戸幸品」の商標登録を行い、はちみつの販売を開始した。

③ 缶バッチ・缶マグネットの製作販売

村内障がい者施設(4施設)による「缶バッチ☆マグネット製作隊」と連携し、受注販売活動を行った。

(2) 障がい者就労カフェ

障がい者就労の場の拡充と来村者への福祉意識の啓発を目指し、本館・宿泊館1階において、障がい者と健常者がともに働く障がい者就労カフェの運営を行った。

[利用者数]53,144人

(3) はっぴねすコーナー

本館・宿泊館及び温泉健康センターにおいて、障がい者施設の授産品やユニバーサルデザイン製品の展示・販売や施設の活動を紹介するコーナーの運営を行った。

(4) ふれあいコンサート

音楽活動を通じた障がい者・高齢者の社会参加や市民とのふれあいの促進を目的に、家

族や友人とともに音楽を楽しんでいる障がい者・高齢者のグループや音楽を通じたボランティア活動を行っているグループが出演するコンサートを行った。

[開催期間]4月25日～26日 [出演団体数]計44団体 [来場者数]計1,100人

(5) ファミリー日帰りキャンプ

身体・知的障がい児とその家族がキャンプやレクリエーション活動を通じて、参加者同士の交流を深め、リフレッシュできる場を提供した。

[実施回数]年1回(9月27日) [参加者数]29家族・98人

(6) 障がい者スポーツ教室

障がい者の健康増進、心身機能の維持・向上や生きがいづくりを目的に各種スポーツ教室を行った。

[実施種目]水泳、卓球、親子運動あそび、テニス、アーチェリー、ニュースポーツ

[参加者数]計830人

(7) 障がい者スポーツフェスタ

障がい者スポーツへの理解を深めることを目的に、障がい者と健常者がともに楽しむ卓球大会やニュースポーツの体験会を開催した。

① 卓球大会 [実施回数]年1回(9月14日) [参加者数]95人

② ニュースポーツ体験会 [実施回数]年1回(10月4日) [参加者数]631人

(8) ユニバーサル農園活動

ユニバーサル農園において、レクリエーションや機能回復等の一環として、村内の福祉施設利用者などに野菜の栽培や収穫等の農園活動の体験機会を提供した。

[参加団体数]10団体

2 高齢者の自立や社会参加を促進するための事業

(1) シルバーカレッジの運営

高齢者の豊かな経験を活かして自らの可能性を拓き、その成果を社会へ還元することを目指して、高齢者に学習及び実践活動の場を提供することを目的に、健康福祉、国際交流・協力、生活環境、総合芸術等のカリキュラムの他、地域でのボランティア活動も交えたカリキュラムを実施するとともに、学生ボランティアグループや卒業生が行う社会還元活動に対する支援・協力も行った。

[年度末在籍学生数]計1,060人

- ・健康福祉コース (188人)
- ・国際交流・協力コース (248人)
- ・生活環境コース (203人)
- ・総合芸術コース (421人)

(2) ひよどり短期スポーツ教室

健康維持増進や心身機能の維持向上を目的に体力づくりを中心とした教室を実施した。

- ① 高齢者健康教室 [実施回数]全7回×2期 [参加者数]延107人
- ② ランニング教室 [実施回数]前期 全4回×1クラス・後期 全5回×1クラス [参加者数]延50人

(3) 健康いきいき教室

心身機能の維持向上と交流する機会の提供を目的に、軽運動やレクリエーションを中心とした教室を実施した。

[実施回数]延135回 [参加者数]延1,711人

(4) 高齢者スポーツ教室

高齢者の健康増進、心身機能の維持・向上や生きがいづくりを目的に各種スポーツ教室を行った。

[実施種目]水泳、卓球、バドミントン、テニス、アーチェリー、ニュースポーツ
[参加者数]計1,521人

3 児童の健全な育成を図る事業

(1) わいわいストリート

シルバーカレッジ卒業生を中心とするNPO法人「社会還元センターグループわ」との協働により、親子で楽しく遊べる昔あそびを行い、世代間の交流の場を提供した。

[実施回数]年1回(5月5日) [参加者数]1,250人

(2) おはなしの会

幼児が絵本や紙芝居に触れ、豊かな感性と創造性を育む機会を提供するとともに、ボランティアへの機会提供による担い手の育成を目的に、読み聞かせの会を開催した。

また、ボランティアグループが一堂に集まる「おはなしカーニバル」を開催した。

- ① おはなしの会 [実施回数]年97回 [来場者数]計2,487人
- ② おはなしカーニバル [実施回数]年1回(11月29日) [来場者数]300人

(3) 昆虫採集と標本作り教室

昆虫採集や標本作成を通じ、親子の絆を深めるとともに、子どもたちが生物を観察し、関心を高め、身近な自然の多様性を学ぶ機会を提供した。

[実施回数]年4回(8月1日・2日,各2回) [参加者数]計109人

(4) 夏休み工作塾

創意工夫し表現することの実体験を通じた親子の絆づくりとNPO法人「社会還元センターグループわ」の指導を通じた世代間交流の場を提供した。

[実施回数]年2回(8月9日) [参加者数]計500人

(5) たこづくり・たこあげ大会

たこづくりや村の広大な広場でのたこあげを通して親子のコミュニケーションを育む機会を提供した。

[実施回数]年1回(1月9日) [参加者数]650人

(6) ボランティアリーダーと体験するアウトドア

小学生が大学生ボランティアとともに自然とふれあいながらグループワークを中心としたキャンプの体験を通して、仲間同士の助け合いの大切さを学ぶ機会を提供した。

[実施回数]年1回(3月6日・13日・26～27日) [参加者数]34人

(7) ちびっこ絵画コンクール

しあわせの村の折々の風景の写生を通して、子どもたちに村の豊かな自然環境を体感する機会を提供した。

また、作品については村内施設に掲示するとともに、優秀な作品に対する表彰を行った。

[実施回数]年2期(春・秋) [参加者数]計177人

4 市民福祉の拠点施設としての施設を維持するとともに活性化を図る事業

(1) 総合的な施設の管理運営

- ① 誰もが安全・安心・快適に利用できるよう、施設の保守・修繕や警備、無料巡回バスの運行等の村内施設の総合的な維持管理を行った。
- ② 高齢者や障がい者の利用割合が高い施設の特性を考慮しながら、協会において策定した「しあわせの村ユニバーサルデザイン推進指針」に基づき、当事者の意見を活かしながら検証し、誰にでもやさしい「村」づくりを進めた。
- ③ しあわせの村関係団体等の協力により整備した「しあわせの花日時計」や来村者が緑の中で五感の刺激を受け、心身の癒しを感じながら散策を楽しむことのできる「いやしの小径(グリーンケアロード)」の供用を開始したほか、一年中花がみられ、市民の憩いとリフレッシュの場として人気が高い緑地について、快適な空間として良好に維持管理を行った。
- ④ 市民の理解をより一層深めていただくための情報発信や運営改善のためのアンケート調査を行った。

・入村者アンケート調査

[実施回数]年1回(10月14日・17日) [有効回答数]1,420件

・登録モニター「村っ子モニター隊」

[モニタリング調査実施回数]年2回(6月・11月) [年度末登録者数]99人

・ホームページやメールマガジン、フェイスブック等の様々な広報手段の活用による情報発信

- ⑤ 障がい者団体への村内管理業務等の委託を通して、障がい者の就労の場の確保を図るとともに、自立や社会参加のための活動を支援した。

ア. 空き缶回収・ゴミの分別回収業務

イ. 温泉健康センター販売コーナーの清掃業務

ウ. 保養センターひよどり周辺の園地管理

エ. 自動販売機の管理

(2) 多くの市民が集い、楽しみ、憩い、交流を深めるための事業

① こうべ福祉・健康フェア

市民の福祉意識を啓発し、ボランティア活動の情報提供や健康に関する正しい知識の普及・啓発を図ること目的に、福祉施設・障がい者団体によるバザーや模擬店の他、福祉用具展、各種検診等を行った。

[実施回数]年1回(10月4日) [来場者数]17,000人

② しあわせの村まつり

村内施設や関係団体、近隣地域の参加・協力により、広く市民が交流する地域の夏祭りとして、模擬店、ステージイベント等を行った。

[実施回数]年1回(7月25日) [来場者数]24,000人

③ リサイクルバザー

資源の有効活用を通じた市民相互の支え合いと環境意識の啓発を目的に、市民出店者による不用品等のリサイクルバザーを開催した。

[実施回数]年4回(5月30日・31日、11月7日・8日(雨天中止)、3月19日(荒天中止)・20日) [来場者数]計52,000人

④ マンスリーミニコンサート

しあわせの村を訪れる幅広い世代の方々に季節を感じ癒しのひと時を過ごしていただくことを目的に、神戸市混声合唱団によるロビーコンサートを開催した。

[実施回数]毎月1回 [来場者数]計3,529人

⑤ 村の魅力ある自然環境を楽しむ催しの開催

ア. 夜桜ライトアップ

4月の開花にあわせ、日本庭園を夜間開放し、シダレザクラ等のライトアップを実施した。

[実施回数]年1回(4月10日～12日) [来場者数]1,010人

イ. 緑のオリエンテーリング

村の豊かな自然環境を体感しながら、クイズラリーなどを楽しむオリエンテーリングを実施した。

[実施回数]年2回(7月4日、10月31日) [参加者数]計276人

ウ. 蛍の夕べ

日本庭園を夜間開園し、自生するヘイケボタルの光を楽しむ鑑賞会を開催した。

[実施回数]年1回(6月5日～7日) [来場者数]1,323人

エ. 植物散策会

村内の様々な植物を観察する散策会を開催した。

[実施回数]年2回(5月17日、9月16日) [参加者数]計47人

⑥ しあわせの村ボランティア

しあわせの村での事業に大学生から高齢者までボランティアの参画を広く求め、活動の場の提供と支援を行った。

ア. 協会事業の運営補助

イ. 障がい児、障がい者向けスポーツ教室の補助

ウ. おはなしの会（再掲）

エ. 花壇のデザインや植え付け・手入れ等

オ. 自主企画イベントの実施

・ 読み聞かせ [実施回数]年6回 [参加者数]計93人

・ 運動あそび [実施回数]年6回 [参加者数]計143人

・ 自主企画 [実施回数]年9回 [参加者数]計3,279人

[登録者数/活動人数（計228人/延4,720人）]

ア. 障がい児・障がい者向け各種スポーツ教室の指導補助ボランティア（58人/延1,852人）

イ. 社会人ボランティア（74人/延719人）

ウ. ユース(大学生)ボランティア（69人/延1,390人）

エ. 花緑ボランティア（27人/延759人）

(3) 神戸芸術工科大学との連携協定

ユニバーサルデザイン普及啓発事業等において連携してきた同大学と、さらなる市民福祉の向上に向けた地域の発展と人材育成に寄与するための連携協力に関する協定を締結した。

B 平磯児童館の運営

児童に健全な遊びの場を提供し、その健康を増進し、または情操を豊かにする活動を通じて地域における市民福祉の向上に寄与することを目的に、指定管理者として運営を行った。

① 児童健全育成事業

自由来館児童への遊びの提供・指導、季節行事、在宅福祉センターや地域福祉センターの高齢者との交流会等を実施した。

② 子育て支援事業

・ 「幼児の会」（毎週1回）

2歳～5歳児の親子を対象にした手遊び等のプログラムを実施した。

・ 「ミニミニっ子」（毎月1回）

0～5歳児の親子を対象にした手遊び等のプログラムを実施した。

・ 「すくすく広場」（毎月1回）

0～5歳児の親子同士の交流を図るための季節行事等のプログラムを実施した。

[来館者数]延7,214人

Ⅲ 介護保険制度の公正・公平な運営を確保するための事業[公3] 293百万円

当協会の中立性と専門的資格を有する人材を活用し、介護保険制度の公正・公平な運営の確保に寄与するための事業を市からの受託により実施した。

1 要介護認定調査業務

指定市町村事務受託法人として、市内全域における介護保険サービスの受給を新たに申請する市民及び要介護度の変更を申請する市民に対して訪問・調査を行った。

[調査件数]30,304件

2 地域包括支援センター巡回調査業務

地域包括支援センター(26センター)を定期的に訪問し、介護予防ケアマネジメント業務に対する調査や助言等を行った。

【収益事業等】

指定管理施設に付帯する便益施設及び市民福祉施設等の運営 449百万円

1 しあわせの村

(1) 便益施設等の運営

- ① 有料駐車場の管理運営 [有料利用台数]327,864台
- ② 飲料等自動販売機及び公衆電話の設置運営
- ③ 野菜・鮮魚等直売所(しあわせマルシェ)の運営 [利用者数]228,886人
- ④ 貸館(シルバーカレッジ内ホール等、日本庭園内茶室)
[利用人数]カレッジ内ホール等4,303人、茶室565人

(2) 東日本大震災被災地交流活動の実施

震災直後に実施した募金活動や救援物資の送付以降、毎年行っている交流活動を引き続き行った。

- ① しあわせの村関連団体との協力による被災地の訪問及び昔あそびやコンサート等の交流事業を行った。[訪問期間]7月2日～6日
- ② 被災地児童等の神戸への招待事業における村内利用に対する協力
- ③ 被災地の障がい者施設の授産品の販売

2 垂水年金会館

市民の教養文化の向上と福祉の増進を図るため建設した同施設の管理運営業務を行った。

- ① 施設の貸与
児童館、地域福祉センター、ボランティアルーム
- ② 貸館(会議室4室、ホール1室) [利用者数]57,707人
- ③ 施設の維持管理
保安全管理、清掃、植栽管理、設備維持管理
- ④ 有料駐車場の管理運営 [利用台数]19,480台
- ⑤ 自動販売機の設置

3 保養センター太山寺・ラジウム温泉太山寺

市民の健康の保持・増進を図るために建設した同施設について、公募により選定した民間事業者により運営を行った。

[利用者数](宿泊)10,232人 (温泉)255,580人

4 福祉機器展示コーナー

身体障がい者や高齢者の快適な生活を支援するため、民間専門事業者への委託により、福祉用具・介護用品の展示・販売や相談を行うとともに、福祉用具リサイクル事業として、提供希望者と譲受希望者のコーディネート及び運搬・修理を行った。

[来場者数]3,174人 [リサイクル成立件数]5件

5 サン舞子マンション

平成23年度に社会福祉法人へ事業を承継したが、引き継いだ入居者に対する相談対応や入居預り金の管理を引き続き行った。